

【第4期（平成30年度～32年度）「大殿地域づくり計画書」】

分野	現状（地域課題）	行動目標	行動計画として考えられること	主な担当部会 （協力・連携）
つながり	<p><情報発信の問題></p> <ul style="list-style-type: none"> ○広報を編集する議論や機能が整っていない ○情報発信の方向性（内向き・外向き）が定まっていない ○情報が煩雑になっている 	<p>編集会議の運用</p> <p>広報紙の一元化を目指す</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・情報発信のあり方を検討していく ・情報発信について企画・検討できるスタッフを募集していく ・情報整理のシステムを強化していく ・広報紙の一元化を見据えた調整を進めていく 	<p>三役会/運営委員会</p>
	<p><人材不足の問題></p> <ul style="list-style-type: none"> ○どんな人材が不足しているのか検討されていない ○人材をコーディネートする機能がない ○ボランティア意識の醸成が進んでいない 	<p>人材発掘システムの創出</p> <p>ボランティア参加促進</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の人材を幅広く発掘、育成していくシステムをつくる ・地域づくりの基盤強化を図る ・ボランティア発掘のための講座を行う ・人材をコーディネートする仕組みをつくる 	<p>三役会/運営委員会</p>
	<p><組織体制の問題></p> <ul style="list-style-type: none"> ○常に協議会運営を最適なものに見直す必要がある ○持続可能な運営を目指していく必要がある ○事業の統合やスリム化を検討していく必要がある 	<p>組織運営の強化</p> <p>事業の共有と見直し</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・会則の見直しや組織についての協議を行い、改善を図っていく ・組織運営のために必要な研修会を開催する ・他団体や他地域との交流を深める機会を設ける ・それぞれの事業を一つひとつ見直してみる 	<p>三役会/運営委員会</p>
	<p><地域コーディネートの問題></p> <ul style="list-style-type: none"> ○構成団体等との連携や交流が進んでいない ○ビジョンをもって大殿地域像を検討する必要がある ○地域全体をつなぐ視点をもったコーディネート機能が必要 	<p>大殿構想の確立</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・団体間の交流を深めるため情報交換会を開催する ・長期的視野も持ちながら大殿地域について検討していく ・「チーム大殿」構想を進めていく 	<p>三役会/運営委員会</p>